

【別紙様式】

平成28年度 津山市立（ 清泉 ）小学校

改善プラン「平成28年度全国及び岡山県学力・学習状況調査」今後の取組について進捗状況（12月末）

津山市 達成目標	これまでの取組やたしかめテスト等から 【平成29年度全科目で岡山県平均点を超える】見込み	○データベース等を利用し基礎基本の復習を繰り返し行っているため、平成29年度は国語・算数のA問題では県平均点を超えたいと考えている。また、国語・算数Bについては、自分の考えをノートに書いてまとめる活動を取り入れているので、本年度の本校平均点を超えたい。	
	学校の取組・改善方法（課題に対する改善方法）	進捗状況	3学期及び来年度へ向けて（具体的な達成目標・数値目標）
市全 体の 取組	問題データベースは、授業の中で練習のためや定着を図るための宿題等で活用する。また、朝の学習で、前学年までの復習の際にも活用する。	B	○各学年とも、基礎的問題を授業での練習や朝の学習、宿題などで活用している。（70%） ○算数の基礎的問題や国語の漢字や語句などはよく活用している ○応用問題や理科、社会の活用も今後進めていきたい。
①	現学年までの漢字の読み書きを、朝の学習・宿題・授業の始まりなど繰り返し取り組む。	A	○引き続き、現学年までの漢字の読み書きを、朝の学習・宿題・授業の始まりなどで繰り返し取り組む。（90%以上）
②	社会科や理科の重要語句の読み・書き・意味理解を宿題や授業の始まりなどに繰り返し取り組む。	B	○フラッシュカードやミニプリントなどを使って、重要語句の読み書きをする。意味理解を宿題や授業の中でノートに書く作業などを繰り返し取り組む。（80%以上）
③	文章を書く能力・長文読解能力の向上をはかるために、授業の中では自分の考えをノートにまとめ、ペア学習で相談する活動を随時取り入れる。高学年では、過去問題や新聞記事紹介に取り組む。	B	○国語、算数、理科、社会において授業のまとめや分かったことなど自分の考えを「書いてまとめる活動」や「グループ学習」を積極的に取り入れる。4年生以上は過去問題や新聞記事紹介に取り組む。（80%以上）
<p>※進捗状況・「S：目標を大きく上回った（100%を超えている）」「A：目標を十分達成できた（85%以上100%未満）」「B：目標を概ね達成できた（70%以上85%未満）」 「C：目標をある程度達成できた（50%以上70%未満）」「D：目標をあまり達成できなかった（30%以上50%未満）」「E：目標を達成できなかった（30%未満）」</p>			